九電グループ経営ビジョン2035

エネルギーから未来を拓く ～九州とともに、そして世界へ～

「環境」「サービス」「社会」「人材・組織」の視点ごとに、九電グループとしての目指すべき方向性を整理し、2035年のありたい姿を策定しました。

環境

責任あるエネルギー事業者として、環境に配慮したエネルギーの安定的な供給を続けるとともに、電化の推進やエネルギー利用の高度化により脱炭素社会実現に貢献するなど、地球環境の保全に向けた取組みを推進し、世界のサステナビリティ実現をリード

社会

エネルギー、ICT、都市開発事業で培ったノウハウを強みに、これまで共に歩んできた地元九州を起点として、世界の社会的課題解決に向けた動きを加速。地域やパートナーに信頼され、共に成長していける企業へ

エネルギーから未来を拓く
～九州とともに、そして世界へ～

サービス

資本効率性を意識した経営を行い、成長性のある事業を展開していくことで、ニーズを先取りしたより付加価値の高いサービスを生み出し、お客さまの暮らしを一歩先の未来へ

人材・組織

多様な人材が会社とともに成長を実感できるような環境を整備し、全ての従業員にとって働くことがワクワクする企業文化を構築

ありたい姿の実現に向けたグループ重点戦略（マテリアリティ）

2035年のありたい姿「エネルギーから未来を拓く　～九州とともに、そして世界へ～」の実現に向け、6つのグループ重点戦略を設定しています。

※6つのグループ重点戦略については、社会と当社グループのサステナビリティを実現していく上での経営上の重要課題（マテリアリティ）と位置付けています。

事業を通じた経済価値・社会価値創出

- Ⅰ カーボンマイナスへの挑戦
- Ⅱ 多様なニーズを叶えるソリューション進化
- Ⅲ 地域共創による価値創造と成長

経営基盤の更なる強化

- Ⅳ 価値創出に向けた人的資本経営
- Ⅴ 企業変革をリードするDX推進
- Ⅵ 革新と成長を支えるガバナンス強化

戦略Ⅰ 「電源の低・脱炭素化」と「電化の推進」を柱として、カーボンマイナスに向けた取組みを加速します。

戦略Ⅱ 変化するお客さまのニーズを叶えるため、プラットフォーム型ビジネス等のサービス領域を拡大・進化させます。

戦略Ⅲ 地域社会と九電グループ双方の更なる成長・発展に向け、社会・経済価値を同時創出する地域共創の取組みを推進します。

戦略Ⅰ～Ⅲの具体的な取組みは、各リーフレットでご説明します。

九電グループ経営ビジョン2035特設ページはこちら

戦略 Ⅳ 価値創出に向けた人的資本経営

経営戦略と人材・組織戦略の連動による価値創出に向け、“従業員エンゲージメント”と“一人当たり付加価値”の向上を目指します。人材・組織のありたい姿に向けて、人材・組織戦略の5つの柱により取組みを推進していきます。

人的資本経営の考え方

企業価値の向上

思いを起点に、未来を創る

経営戦略と人材戦略の連動により、価値創出

個人の思い（Will）と組織のビジョン等を結び付け、人と組織が共に成長しながら価値創出につなげていく

戦略の達成により得られた成果を人材に投資

従業員エンゲージメントの向上　　一人当たり付加価値の向上

人材・組織戦略の5つの柱

1. 人と組織の進化による価値創出
2. 経営戦略の実現に必要な人材の獲得・育成
3. 自らの可能性にチャレンジできる仕組みづくり
4. 多様な人材が活躍できる環境づくり
5. 安心して働ける基盤づくり

戦略 Ⅴ 企業変革をリードするDX推進

お客さまニーズの多様化や働き手不足を背景に、AI等の技術革新を活用した変革が求められていることを踏まえ、九電グループ一体でデジタル技術を最大限活用し、生産性向上や業務プロセスの効率化・高度化・自動化を推進します。

デジタル技術を活用した業務変革

- ドローンやロボット活用による設備保全の自動化
- デジタルツインによる設備管理の高度化
- コミュニケーションツールを活用した働き方改革
- AIエージェントによる業務支援

データ活用推進による企業変革

- データに基づく意思決定
- データを活用した高度分析
- 自社データを利用した価値や体験の創出
- データマネジメントの推進

スキルアップ・ノウハウ醸成

- DX専門人材の育成・確保：DX部門と事業部門の人員交流／DXマネージャー等の専門人材の育成強化
- DXリテラシー・スキル向上：全社員のDXスキル可視化・強化／DX推進の風土醸成／生成AI等のツールの積極活用
- 開発早期化・イノベーション創出：アジャイル開発の展開／市民開発※の推進／異業種との協業・共創、事業間連携強化

データ基盤構築

業務システム等（マスタデータ・IoTデータ、画像 等）　⇔　九電グループデータ基盤（組織を横断した多様なデータ活用）　⇔　他社データ（オープンデータ・パートナー保有データ 等）

セキュリティ確保・強化

DXを支えるセキュリティ確保・強化

- 九電グループ全体を保護するネットワークセキュリティ基盤の新規構築
- 新しい技術への先駆的なセキュリティ対応
- 高度セキュリティ人材の育成強化

※専門的なプログラミングスキルを必要とせず各事業部門自らアプリケーションやシステムを開発すること

戦略 Ⅵ 革新と成長を支えるガバナンス強化

各事業の自律的な経営を加速するとともに、事業ポートフォリオ管理を高度化し、グループ全体の資本効率を向上させます。

グループ戦略

長期的な企業価値向上に向け、事業ポートフォリオを不断に見直し

- 各事業の定量面・定性面のモニタリング
- 事業別投資配分の決定・見直し、資産入替（撤退評価・注力領域の特定）
- 大規模な新規事業・M&Aの検討

各事業戦略

意思決定を迅速化し、自律的に自部門の資本効率性を向上

- 事業ごとの自律的なポートフォリオ見直し
- アライアンス・M&Aを積極的に活用した事業領域・収益拡大

事業ポートフォリオ管理においては、資本効率性等の定量面の評価に加え、社会価値向上への貢献や九電グループがその事業のベストオーナーか等の定性面の評価も活用

❶注力領域の特定と戦略投資の実施
❷資産入替によるキャッシュ創出とバランスシート圧縮
❸市場の動向やグループの強みを加味した新規事業領域への進出